三国斤病院

住所	堺市堺区榎元町15-1	電話	072 -233 -1880
病床数	144 床	病棟数	3 病棟

人権センターニュース No.88 より オンブズマン活動報告

平成20年2月8日訪問

病院全体

前回のオンブズマン活動(平成 16 年 3 月)の活動報告書は管理職全員にコピーをして渡し、人権委員会では検討事項だけでなく活動内容についても院内で見直せることがないかどうか検討した。検討事項の手すりや横開き扉の部屋が必要、トイレの男女共同使用、観察室のプライバシーの問題等は解決され、300 円/日だった小遣い管理費は無料になった。ただ、薬を渡すのは現在も詰所前で行われ、看護師が病室をまわって手渡すことは検討中だった。今回の訪問では、病棟の職員からオンブズマンに対し他の病院の様子や当病院の印象などを熱心に質問していた。

病棟の様子

1 階の食堂(全病棟で共用)にシートを敷いて、OT のプログラムが行われていた。茶道や習字は、OT が診療報酬で認められる前から行ってきた。講師を招いて本格的に行われ、楽しみにしている患者も多い様子だった。茶道でお菓子を食べる場合はその実費がかかるが、手芸などの材料費の患者負担はない。

各階の詰所前に小さなホール以外はくつろげる場所がない。1 階から 3 階まで階段を使っての行き来は 24 時間自由にできるため、1 階の食堂はテレビやピアノなどもあり、デイルームのように使っていた。

意見箱への回答が貼ってあった。半数は食事に関するもので、職員の態度・施設に対する意見も有。 診察室前に「診療担当医」(各曜日の午前・午後ごとに診察や回診に来る医師が書かれた表)が有。

【病室】

ベッドサイドにはナースコール、床頭台、衣装ケース(1人1つ・無料)、鍵付きのロッカーが有。入口に消毒液を設置。入口扉の窓には全てカーテンが有。ベッド周りのカーテンをひいている患者が多かった。広めの4人部屋 2630円/日が2室、3人部屋 2100円/日が6室、個室 6300円/日が11室、8400円/日が1室、特別室 13650円/日(トイレ・浴室付。隔離室として使用時は費用はかからない)が2室。

【トイレ】

和式・洋式・入口がカーテンになっている広めの個室があった。手すり、ナースコールが有。洗面所には熱い湯の出るタンクがあった。

【電話】

詰所前のホールに有。電話横に仕切りはあるが、全体が囲われているわけではないので誰がかけているのか、周りからわかる。隣に給茶器や長いすがあり、2階、3階では常に近くに人がいた。病院によると病棟内で他に置くところがないため、携帯電話を持込可能にした。携帯電話を持っていない患者にとっては掛けづらいと思われる。

病院側の説明

- (1)人権委員会:委員長は副院長で、開催は1ヶ月に1回。意見箱は各病棟と外来に設置し、回収は月に1~2回。投書への回答は掲示する。
- (2)行動制限最小化委員会:設置している。
- (3)担当制:担当看護師がいる。
- (4)診察:2、3階に診察室がある。1階の患者は2階の診察室を使う。
- (5)服薬:自分で歩ける患者は詰所前に取りに来る。

- (6)外出:1階から3階までは階段で自由に移動ができる。1階の詰所には出入りをチェックするための職員が常駐している。各階の詰所カウンターにあるノートに外出先を書き、職員から札を受取る。札を1階詰所で渡すとドア担当の職員がボタンを押してドアを開ける。
- (7) 金銭管理:管理費、ロッカー使用料は無料。
- (8)食事の選択メニュー:7回/週(夜)。朝はパンかご飯を選ぶ。患者から「おいしくない」等の不満の声があり職員も同じ食事を食べるなどしながら、(給食の)委託先を変えることも含めて検討中。
- (9)入浴:週に3回。
- (10)面会:食堂や病室で面会できる。面談室を使うこともできる。面会時間は 9:00 ~ 17:00。家族は 9:00 ~ 19:00。
- (11)携帯電話:公衆電話周辺と1階の食堂で使用できる。
- (12)院内売店:売店はなく、外出のできない患者は外のスーパーから希望した商品を配達してもらう。
- (13)医療福祉相談室: PSW は3名。うち2名はデイケアと兼務。主治医からの依頼で相談にのる。入院のお知らせに案内をしている。開院当初からいて周知されているので病棟内に掲示などはしていない。***

1 階 (閉鎖 男性 24 床 精神一般 15:1)

病院側の説明

任意入院 24 名で開放処遇の患者が 19 名。薬の自己管理 5 名。金銭は基本的には自己管理であるが、家族の希望により 3 名が病院管理。

病棟の様子

ベッドサイドにテレビがあり、80円/日。ほとんどの患者のベッド周りはカーテンがひかれていた。寝ている患者やテレビをみている患者、外出中の患者もいるらしく病棟内は静かだった。病院全体の浴場や食堂があるため、2~3階の患者が廊下を歩いていた。外から入る自動ドアの向かい側にある詰所には、外への扉の開閉を担当する職員が常駐していた。

2階(閉鎖 男女 60床 精神一般15:1)

病院側の説明

任意入院 51 名、医療保護入院 3 名。年齢層は 40~50 代が多い。70~80 代が 4 分の 1 を占める。認知症は少なく、気分障害が多い。任意入院で開放処遇が 25 名。他は同伴で出かけるようにしている。売店がないので週に 1 回、近くのスーパーから代理行為で購入をする。薬の自己管理は 2 名。臨時薬だけ自己管理をしている患者も数名いる。金銭はほとんどの患者が自己管理している。ほとんどの患者が OT に参加している。それ以外に看護が中心に月に 1 回花見などのレクリエーションをしている。それ以外にも近くの公園などへ数名で散歩に出るようにしている。

病棟の様子

喫煙室、詰所前ホールには数名の患者がいた。詰所内の看護師に苦情を言っている患者もいた。職員は丁寧に対応をしていた。3時前になり、おやつを預けている患者も詰所前に集まってきていた。歩行器の患者もいた。

患者の声

「自分のパジャマを着ていて寝間着は着ていないのに寝間着代 1 日 100 円とられる」「喫煙室で大きな声で話していたら『声のトーンをさげてね』と言う看護師もいるが『うるさい』ときつい言い方をする看護師もいる」「ここの療養環境はよいです。外出もしやすいし、看護師もだいたいやさしい」「食事がまずい」「食事がさめている」「外出は自由にできる。不便は感じていない」「薬は並んでもらう。口をあけてチェックをする」

|3 階| (閉鎖 女性 60 床 精神一般 15:1)

病院側の説明

年齢層は 10~80 歳代と幅広いが 30~40 歳代が中心。金銭は鍵付きロッカーで自己管理。幅広い年齢層の患者がおり、それぞれの価値観があるので、その兼ね合いが難しい。女性は態度や言葉に敏感で、集団で詰所に抗議に来られることもある。ほとんどの患者がテレビを借りてイヤホンで聴いている。外出では銭湯やデパートに行く人もいる。

病棟の様子

【面談室】

外から覗けないようにするため、ドアのカーテンが外側と内側から二重にかけられていた。以前は病室だった。診察、入院時の説明、身長・体重測定にも使われているようだった。

患者の声

「食事が外部委託になってからまずくなった」「メニューも以前好評だったものが出ない」「携帯電話が持てるようになってよかった」「医師の診察は週2回、診察室か面談室で行われる。廊下で会ってそこで様子を聞かれることもある」「お風呂に落ち着いて入れないので、ゆっくり入りたい」「薬を手渡す時に床に落ちたのをそのまま飲ませようとした看護師がいる。こちらから取り替えるように頼んだ」

検討事項

【全員一律の寝間着代負担について】

全員が一律に寝間着代 (110 円 / 日・週 2 回交換)を負担していた。病院側によると「衛生上のこと」とのお話もあったが、患者によると「自分のパジャマを着ていて寝間着は着ていないのに寝間着代 1 日 100 円とられる」とのことだった。また、他病院では患者自身の寝間着を着ている中で衛生面にも配慮されている。患者自身が選択できるようにすべきではないだろうか。(病院:貴重な御意見として今後の検討課題としたい)【薬の渡し方について】

基本的には患者が詰所前まで取りに行くことになっていた。他の病院では「病室の患者の側にいき、一人々々確認しながら手渡す方が間違わない」との説明があり、患者からは「声をかわし納得して飲める」との声があった。薬の渡し方については、まずは看護師が病室を訪ねて薬を手渡すということをスタートラインにし、患者の状況によっては詰所に取りに来てもらう段階を設けるというような個別的な対応を検討していただきたい。病室を訪ねて手渡すことも検討しておられるようであったので、早期に実現することを期待したい。(病院:病院で配薬するために業内容について各階で話し合っております。

各部屋訪問して配薬する人

退院促進に向けて自己管理する人

状態を見ながら主治医と相談し1日分渡しから1週間渡し、管理とアクセスを考えていく 所前での配薬極力さけ必要な人は個別対応とする)

H19 大阪府精神保健福祉関係資料より

(三国丘病院分)

133 名の入院者のうち気分障害が63 名(47%)、統合失調症群が50 名(38%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害が4名(5%)。入院形態は任意入院114名(86%)、医療保護入院19名(14%)。在院期間は1年未満が95名(71%)、1年以上5年未満が19名(14%)、5年以上10年未満が11名(8%)、10年以上20年未満が5名(4%)、20年以上が3名(2%)。(H19.6.30時点)